2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	義肢装具学（講義＋演習）	授業形態	(講義)・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	月曜1・2限
担当教員	廣島　淳				
授業概要	義肢・装具の変遷、近年の適応、名称、種類及び構造、機能評価法を学び、義肢を使用する切断患者のリハビリテーションや装具を使用するリハビリテーションの実際について学習する。				
学習目標	①装具の種類、構造、機能、適応について説明できる。 ②義肢の切断部位に対する種類、構造、機能、適応について説明できる。 ③各疾患に対して使用する装具のデザインと目的、必要な評価、使用方法を説明できる。 ④目的に合わせて、簡単な装具を製作できる。				

回数		担当教員
1回目	義肢装具総論、リハビリテーションにおける義肢装具の役割 P190～194	廣島　淳
2回目	義肢装具の支給体系、健康保険の仕組み、医療従事者の関連性 P18、P65～79、P190～194	廣島　淳
3回目	体幹装具 体幹装具に関する基礎知識と症例に対する装具療法の展開 P194、P276～277、P348	廣島　淳
4回目	体幹装具 P194、P197～198、P272～287、P292	廣島　淳
5回目	上肢装具 指、MP、対立、手関節 P192、P197～199、P209、P214、P300～302、P307～P341、P348～350	廣島　淳
6回目	上肢装具 把持、肘、肩 P192、P207～209、P213～216、P248～249、P257～259、P300、P314～315、P332～341、P348～349	廣島　淳
7回目	演習　手関節装具の製作（プリント）	廣島　淳
8回目	演習　手関節装具の製作（プリント）	廣島　淳
9回目	下肢装具　足底装具 演習（フットプリント） P193、P265～271、P298～299、P346～348	廣島　淳
10回目	下肢装具 短下肢 P193、P203～207、P210～214、P222～224、P238～239、P251～252、P255～256、P303～304、P346～347	廣島　淳
11回目	下肢装具 膝、長下肢 P193、P201～206、P209～226、P239～241、P249～250、P252～P255、P302～P304、P342～346	廣島　淳
12回目	下肢装具 小児、靴型 P193、P217～P247、P260～271、P288～296	廣島　淳
13回目	義足概論 義足の基礎知識 P70～79、P120～P188	廣島　淳
14回目	義足概論 義足の基本構造　チェックポイント P120～188、P357～358	廣島　淳
15回目	義手概論 義手の基礎知識 P65～68、P70～119、P357～358	廣島　淳

教科書及び参考書	義肢装具学（医学書院） 義肢装具のチェックポイント（医学書院）　手のスプリントのすべて（三輪書店）
成績評価	筆記試験（80%）　出席率（10%）　授業態度（10%）　で評価する

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

授業では実物の義肢・装具を使用し回覧しますので、動かしてみたり、装着してみたりして、質感やデザイン、ベルトの位置などをよく観察して理解を深めて下さい。義肢・装具に興味を持ち、疑問点は積極的に質問をして下さい。
尚、睡魔に襲われた時には、教室の横や後ろに立って聞くなり、トイレに行って顔を洗うなり自分自身で工夫して下さい。

（実務経験のある教員による授業科目の場合）どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

医療機関等で義肢装具士として現在活躍中である非常勤講師が体験談などを交え、義肢装具の概要を講義し、
演習では実際に装具製作を体験し、必要な知識を学ぶ科目である。

更生保護(3211)	大兼健寛	併修科目・必修
		3年
		PT　月曜3限

授業のねらい	更生保護制度の概要と保護観察におけるダブルロールについて学ぶ。 日本の刑事政策における仮釈放制度や、保護観察制度の多面的側面について学ぶ。 更生緊急保護という、特殊な状況下における更生保護処遇について学び、現代社会における刑事政策と福祉政策の在り様について学ぶ。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題				
	レポート 1	刑事政策における更生保護の意義と保護観察におけるダブルロールについて述べよ。	清書	11/9 (月)授業内
	(ポイント)	我が国の刑事政策において更生保護制度が担っている役割、機能を中心に論述し、保護観察は本人の行動を統制、制限する権力的側面とその社会復帰を援助する両側面について、これをダブルロールという言葉を用いてより具体的に述べること。		
	レポート 2		清書	
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント1・仮釈放について 学修のポイント2・保護観察について	科目修了試験11月30日(月)実施予定	

1	更生保護制度とは？
2	更生保護におけるダブルロール
3	保護観察とは？
4	保護観察におけるダブルロール、清書レポート作成
5	清書レポート作成
6	学修のポイント1・仮釈放等について
7	学修のポイント2・保護観察について
8	刑罰とは何か？
9	過ちを犯さないために－現代社会を生きるには－
10	科目終了試験

成績評価	出席率	80%以上の出席率であること。それに満たない場合、別途課題レポートを提出すること。

備　考	授業中にレポート作成時間を設けはしますが、時間の都合上、満足できるほどの時間は作れないかと思います。そのようでありますので、自身の時間を効率よく活用し、レポート作成を行ってください
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回るとことになれば、別途課題の提出を求めます。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形Ⅱ	授業形態	講義 (演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	火曜・1限
担当教員	笠原　靖子				
授業概要	運動器の正常な解剖学や機能解剖・バイオメカニクス的な観点から正常な機能や役割を理解して、各関節に対するスポーツ障害や絞扼性神経障害を中心に理解することで、実際の患者さんへどのような理学療法を展開できるかを学びます。 治療を立案するにあたり、身体機能検査の結果より具体的な理学療法の進め方を考える事ができるようにする。				
学習目標	1.スポーツ理学療法について、必要な機能評価・徒手療法について理解する。 2.様々なスポーツ動作の各相、生じる傷害について学ぶ 3.スポーツ外傷、内科的障害について理解する 4.絞扼性神経障害について概要を理解し、治療方針について学ぶ				

回数		担当教員
1回目	スポーツ理学療法①:総論　目的や対象、行われる場面と内容について理解する	笠原　靖子
2回目	スポーツ理学療法②:必要な機能評価と徒手療法の目的や方法を理解する	笠原　靖子
3回目	スポーツ動作①:走動作　走動作の各相・生じる傷害と動作改善を学ぶ	笠原　靖子
4回目	スポーツ動作②:投動作　投球動作の各相・生じる傷害と動作改善を学ぶ	笠原　靖子
5回目	スポーツ動作③:テニス動作　テニス動作の各相・生じる傷害と動作改善を学ぶ	笠原　靖子
6回目	スポーツ動作④:ジャンプ・着地・切り返し動作で生じる下肢障害の特徴を学ぶ	笠原　靖子
7回目	スポーツ動作⑤:泳動作で生じる傷害と動作改善のポイントを学ぶ	笠原　靖子
8回目	小テスト・スポーツによる重篤な外傷とその対処法を学ぶ	笠原　靖子
9回目	スポーツによる内科的障害とその対処法について学ぶ	笠原　靖子
10回目	絞扼性末梢神経傷害①:末梢神経傷害の定義・主な絞扼性末梢神経障害を学ぶ	笠原　靖子
11回目	絞扼性末梢神経傷害②:絞扼性末梢神経障害の理学療法評価・症状を学ぶ	笠原　靖子
12回目	絞扼性末梢神経障害③:絞扼性末梢神経障害の機能予後と治療方針について学ぶ	笠原　靖子
13回目	絞扼性末梢神経障害④:絞扼性末梢神経障害の理学療法と演習問題の実施	笠原　靖子
14回目	小テスト・まとめ	笠原　靖子
15回目	パラスポーツ(障がい者スポーツ)と理学療法のかかわりについて理解する	笠原　靖子

教科書及び参考書	最新 理学療法学講座　運動器理学療法学:編著　木藤 伸宏(医歯薬出版株式会社) 15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト　スポーツ理学療法学
成績評価	期末試験(70%)・小テスト(30%)遅刻1回−1点、欠席1回−3点の減点、態度不良も減点

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

疾患別運動療法演習　整形Ⅱではスポーツ障害や絞扼性神経障害について学びます。一般的な整形外科疾患には無いオーバーユース症候群など運動器の損傷の仕方が非常に特徴的ですので1・2年生に学んだ解剖・運動・生理学の内容をよく復習して広義に臨んでください。
スポーツ疾患は各スポーツによる特徴も理解しなければなりません。興味があるスポーツの動画など、どんな動作をしているかを事前に勉強しておいてほしいと思います。

(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

中学から大学までソフトテニス部に所属してきました。大学では授業で専門外のスポーツを色々と経験しました。経験談を踏まえて授業を進め、様々なスポーツに興味を持っていただけるとよいと思います。様々なスポーツの特性を知る良い機会になると思います。わからない事を調べながら知識を増やしていきましょう。

社会調査法(3092)	田辺　則人	併修科目・必修
		3年
		PT火曜2限

授業のねらい	本科目では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習する。社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本科目の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。本科目を学習することにより、調査とはどういうことか、社会調査の重要性、多様な調査手法とその組み合わせ方や調査計画の作成、調査の分析と調査結果の活用など、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。

教科書・資料		日本ソーシャルワーク教育学校連盟 「社会福祉調査の基礎」中央法規		
設題	レポート 1	社会調査および社会福祉調査の性格についてまとめ、量的調査（統計調査）と質的調査（事例調査）の相違について述べよ。	清書	11講
	（ポイント）	社会調査、社会福祉調査それぞれの意義と目的をよく理解した上で、社会調査、社会福祉調査の基本的性格をまとめること。また、量的調査（統計調査）と質的調査（事例調査）それぞれの調査方法についてまとめ、両者の相違点について考察すること。		
	レポート 2			
	（ポイント）			
	科目終了試験	学修のポイント 2　全数調査と標本調査の特徴および標本抽出法について 学修のポイント 3　質問紙の作成方法と留意点について 学修のポイント 1　社会調査における倫理と個人情報保護について		科目終了試験12月1日（火） 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	＜調査とは・社会福祉における調査の必要性と意義＞オリエンテーション／社会福祉と調査
2	調査の重要性とその種類・枠組み、調査計画の策定
3	＜量的調査の方法と留意点＞量的調査の方法とその特徴
4	アンケート調査の実施、学修ポイント２全数調査と標本調査の特徴および標本抽出法について
5	レポートの書き方補足、学修ポイント２　1250字レポート作成・締切
6	学修のポイント　３　質問紙の作成方法と留意点について
7	学修ポイント３　1250字レポート作成・締切
8	＜質的調査の方法と留意点＞質的調査の方法とその特徴について
9	ヒアリング調査等の実施
10	量的調査と質的調査の特徴の比較、清書レポート作成①
11	清書レポート作成②・締切
12	学修のポイント１社会調査における倫理と個人情報保護について
13	学修ポイント１　1250字レポート作成・締切
14	ワークショップの企画と試行
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０％以上が求められます。８０％を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習　整形外科Ⅳ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	火曜・3限
担当教員	笠原　靖子				
授業概要	・整形外科疾患の基本的な知識を整理する。理学療法士として整形外科疾患の基本的な治療を学ぶ。 ・基本的な評価を確認しながら、整形疾患別に必要な評価方法を学ぶ。 ・運動器疾患に対する治療を立案し実際に実技を行う				
学習目標	①　上肢の疾患に対する評価・治療について実践できる ②　下肢の疾患に対する評価・治療について実践できる ③　体幹に対する運動療法を実践できる ③　バランス・協調性に対する運動療法の実践ができる				

回数		担当教員
1回目	症例を考える ①　：　上肢の疾患(肩関節①)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
2回目	症例を考える ②　：　上肢の疾患(肩関節②)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
3回目	症例を考える ③　：　上肢の疾患(肘・手①)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
4回目	症例を考える ④　：　上肢の疾患(肘・手②)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
5回目	症例を考える ⑤　：　上肢の疾患(肘・手③)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
6回目	小テスト:テスト振り返り・まとめ	笠原　靖子
7回目	症例を考える ⑥　：　下肢の疾患(膝関節①)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
8回目	症例を考える ⑦　：　下肢の疾患(膝関節②)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
9回目	症例を考える ⑧　：　下肢の疾患(股関節①)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
10回目	症例を考える ⑨　：　下肢の疾患(股関節②)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
11回目	症例を考える ⑩　：　下肢の疾患(足関節①)に対する評価・治療について学ぶ	笠原　靖子
12回目	小テスト:テスト振り返り・まとめ	笠原　靖子
13回目	バランス・協調性に対する運動療法の実践	笠原　靖子
14回目	体幹に対する運動療法を実践できる	笠原　靖子
15回目	レッドコード:レッドコードを使っての治療を学ぶ	笠原　靖子

教科書及び参考書	運動療法学　障害別アプローチの理論と実際　　理学療法評価学 改訂第6版　金原出版㈱ 15レクチャーシリーズ　スポーツ理学療法学　　運動器理学療法学
成績評価	定期試験(70%)、小テスト(30%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減) 態度不良は減点

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

日常生活でよく目にしたり、聞いたことのある疾患をもとに、評価・治療の立案をしてみましょう。治療に関しては、実際にどんな治療を行い、どこに注意をしたら良いか学びましょう。整形疾患は私たち理学療法士が多々携わることとなります。国家試験でも多くの問題が出題されます。評価実習や総合実習においても実際に担当する場面も出てくると思います。知識の整理をしながら、評価と治療を一緒に学んでいきましょう。

(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

地域の整形外科で理学療法士として仕事をしてまいりました。骨折や靭帯損傷など、保存治療を中心にリハビリを実施。その他、高齢者の変形性関節症、慢性疼痛疾患などの患者様を診てまいりました。一般的なリハビリの治療を実際に行いながら学んでいける授業にしたいと思います。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習　整形Ⅰ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	火曜・4限
担当教員	後藤　洋平				
授業概要	・整形外科学の基本的な知識を整理しながら、理学療法士としてのリハビリテーションの方法(運動器疾患に対する)を学ぶ。 ・実際の運動器疾患に対する評価方法を実技を用い学ぶ。(基本的な評価法を理解し運動器疾患に応用する) ・疾患別の運動器疾患に対する治療を学ぶ。				
学習目標	1. 整形外科疾患の病態の理解を行う。 2. 整形疾患に対するリハビリテーション全般の整理を行う。 3. 運動器疾患に対する評価を学ぶ。 4. 運動器疾患特有の運動療法を学ぶ。 5. 実習で実施できる基本的な評価・治療をみにつける。				

回数		担当教員
1回目	運動器の基礎理論　(運動の原則、病態、組織の損傷と修復)①	後藤　洋平
2回目	運動器の基礎理論　(運動の原則、病態、組織の損傷と修復)②	後藤　洋平
3回目	運動器の基礎理論　(運動の原則、病態、組織の損傷と修復)③	後藤　洋平
4回目	運動器の評価(医療面接、急性期の評価、四肢体幹反測定、検査結果の解釈)	後藤　洋平
5回目	運動器理学療法の治療(総論、筋機能障害、疼痛管理等)②	後藤　洋平
6回目	小テスト①(講義:1～5回)　まとめと振り返り	後藤　洋平
7回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①	後藤　洋平
8回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②	後藤　洋平
9回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①	後藤　洋平
10回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②	後藤　洋平
11回目	小テスト②(講義:7～10回)　まとめと振り返り	後藤　洋平
12回目	脊椎椎体骨折(評価、治療、保存療法、術後理学療法)	後藤　洋平
13回目	関節リウマチ(評価、治療、保存療法、術後理学療法)	後藤　洋平
14回目	肩関節疾患(評価、治療、保存療法、術後理学療法) 上肢骨折まとめ	後藤　洋平
15回目	小テスト③(講義:12～14回)　まとめと振り返り	後藤　洋平

教科書及び参考書	最新理学療法講座　運動器理学療法学
成績評価	定期テスト70%、提出物・小テスト30% 欠席(-3点)、遅刻(-1点)、態度不良、および教科書、配布資料を忘れた場合は減点の対象とします。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

整形外科疾患(運動器疾患)は、実習にて対象となる最も多い疾患の1つです。また国家試験でも多くの関連する問題が出題されます。
また、日常でも自身の痛みまたは家族の関節の痛みも理解できるようになります。問題がある関節に対し、医療機関で診断を受け、自身でもトレーニングし改善できる知識を身につけていただければと考えます。
1月から始まる実習に対しても、知識を整理し、実習でもスムーズに実技が進められるよう集中して取り組んでいきましょう。

(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

整形疾患を呈した方のリハビリテーションにおける重要な視点は、基礎知識をリンクさせることです。整形疾患は小児から高齢者まで多くの年代の方が対象になり、小児やスポーツの分野等でも必ず必要な知識になります。しっかりと整形疾患に対する考え方を学んでいきましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習　小児	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	水曜・1限
担当教員	原田隆之				
授業概要	子どもの正常発達を学び，発達段階を理解していく．また、姿勢制御機構（原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応）の発達を学ぶことで，リハビリ内容とリンクさせて考えれるようにする．各種疾患による，障害の特徴を理解し，評価や治療へと展開していく．授業では，動画を多く取り入れ，イメージがつくように行っていく．				
学習目標	①正常発達の月齢を理解し，発達段階を予測できるようになる． ②姿勢制御機構（原始反射・姿勢反射・立ち直り反応・平衡反応）について理解し、説明出来るようになる． ③脳性麻痺などの各種疾患の障害像を理解し，適切な評価・治療が行えるようになる．				

回数		担当教員
1回目	小児理学療法概論，運動発達理論（神経成熟理論、アフォーダンス理論、ダイナミックシステムズ理論）	原田　隆之
2回目	胎児期の行動メカニズムについて	原田　隆之
3回目	運動発達概論と各種評価法（発達検査と運動発達検査）について	原田　隆之
4回目	正常運動発達（胎生期～新生児期）について	原田　隆之
5回目	正常運動発達（乳児期～学童期）について	原田　隆之
6回目	姿勢制御機構の発達1（原始反射・姿勢反射）について	原田　隆之
7回目	姿勢制御機構の発達2（立ち直り反応・平衡反応）について	原田　隆之
8回目	運動発達，姿勢反射演習・実技	原田　隆之
9回目	脳性麻痺1（概念、疫学、原因と病理、各種分類）について	原田　隆之
10回目	脳性麻痺2（痙直型における、評価と介入）について	原田　隆之
11回目	脳性麻痺3（アテトーゼ型における、評価と介入）について	原田　隆之
12回目	子どもの整形外科的疾患（二分脊椎、骨端症、先天性骨関節疾患）について	原田　隆之
13回目	子どもの遺伝性疾患（筋ジストロフィーに対する評価と介入）について	原田　隆之
14回目	知的障がいの概念と定義、ダウン症に対する評価と介入について	原田　隆之
15回目	障がい倫理・親の想いについて	原田　隆之

教科書及び参考書	小児理学療法学テキスト（南江堂） 講義配布資料
成績評価	1．筆記試験（90%） 2．学習態度（10%） 以上を総合的に判断して，6割以上を合格とする．

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

現在，出生数は減少している中，医療の発展，高齢出産等の理由により，障がいを抱えているお子さんは増加しています．しかし，小児理学療法を受けれる社会資源は，充足していません．理学療法士が必要とされている領域です．小児理学療法に対して苦手意識を持たず，学習に取り組んでいきましょう．
積極的に授業に参加し，疑問点などあればその場で解決出来るように質問してください．また，授業の終わりに確認テストを行ない，その都度理解度をみていきます．

（実務経験のある教員による授業科目の場合）どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

一般社団法人Re Smileでは，2012年に制度化された放課後等デイサービス（障がい児が学校後や休日に通う施設）において，全国でも珍しいリハビリに特化した運営を行なっています．講義の中では，利用児・ご家族の協力を得て，写真・動画を駆使しながら，実際のリハビリ現場をイメージしやすいように行なっていきます．

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法管理学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	水曜・2限
担当教員	笠原　靖子				
授業概要	理学療法士として得られた知識や技術を患者に提供する際に必要な管理、マネジメントができる能力を身に付ける。医療技術職としての理学療法士にとどまらず、社会人として世に出て実生活を営むうえで欠かせない基礎的な知識の習得を行っていく。社会保障をはじめとし、年金、社会人として経済的に自立していくうえで必要な知識を学んでいきます。				
学習目標	① 知識や技術を患者さんに提供する際に必要な管理、マネジメント能力を身に付ける。 ② 医療・介護などの諸制度について理解することができる。 ③ 社会人として実生活を営むうえで不可欠な知識を得る。 ④ 社会保障の仕組みを知り、経済的に自立する基礎的な知識の理解する。				

回数			担当教員
1回目	総論	理学療法管理学の概要について理解する	笠原　靖子
2回目	病院の分類と組織	医療機関の分類と組織の機能について理解する	笠原　靖子
3回目	専門職とチームケア	専門職と事務職の役割、診療報酬上のチーム医療を理解する	笠原　靖子
4回目	社会保障のしくみ	日本の社会保障の構成要素とその役割を理解する	笠原　靖子
5回目	医療保険制度	理学療法業務に必要な医療保険制度を理解する	笠原　靖子
6回目	介護保険制度	理学療法業務に必要な介護保険制度を理解する	笠原　靖子
7回目	診療・介護報酬	リハビリテーション分野における収益の構造を理解する	笠原　靖子
8回目	まとめ	小テスト、授業の復習	笠原　靖子
9回目	保険・医療の連携	保健医療の連携と介護・福祉のかかわりについて理解する	笠原　靖子
10回目	業務管理・情報管理	PT業務の概要、臨床業務の情報、記録の意義と管理を理解する	笠原　靖子
11回目	リスク管理	「医療安全」とリスク管理について理解する	笠原　靖子
12回目	感染症管理	医療・介護施設における感染管理について理解する	笠原　靖子
13回目	権利・職業倫理	患者の権利擁護と職業について理解する	笠原　靖子
14回目	まとめ	小テスト、授業の復習	笠原　靖子
15回目	教育管理/政治関与	実習、国家試験、生涯学習、医療・介護と政治・政策を理解する	笠原　靖子

教科書及び参考書	15レクチャーシリーズ　理学療法管理学
成績評価	定期試験(70%)、小テスト2回(30%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

理学療法士として、医学的な知識のみではなく仕事をしていく上での職場の管理・マネジメントができる能力を学び、実践していくことも求められます。また、就職し社会人として実生活を営む上での社会保障の仕組みなどを理解しておくことも将来必要となってきます。慣れない言葉や、用語が多々出てくると思いますが1つずつ理解していきましょう。

(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

地域に密着したクリニックで勤めてまいりました。理学療法士としての業務はもちろんの事ですが、クリニックの規模では多種多様な業務に携わる機会も多々ありました。地域リハビリテーションの現場では、契約における説明に始まり利用にあたっての規約等を伝えて始めて通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションの開始となりますので理解を深めていきましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習　内部障害Ⅱ（循環・老年）	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	木曜・1限
担当教員	平澤　勉				
授業概要	正常な循環機能を復習し、検査の方法を理解します。また高齢者の身体機能がどうように低下していくのかも理解します。障害や状態に合わせて理学療法士にできることは何なのか、評価やプログラムを立てる理学療法士の思考について、また御本人や御家族がどう現状を受け止めていくのか学習します。				
学習目標	①循環機能、加齢に伴う身体機能変化の知識を深める。 ②循環機能が障害されるとどうなるのか、加齢に伴い身体機能がどうなるのか、治療や予防方法を理解する。 ③「心大血管リハビリテーション料」の対象となる疾患と老年期の評価、プログラムを立案できる。				

回数		担当教員
1回目	循環器の解剖・整理・主要症候についての復習	平澤　勉
2回目	循環器の検査（血圧、脈拍、心電図）について	平澤　勉
3回目	不整脈と心電図について（正常と異常の違い）	平澤　勉
4回目	心不全について（左心不全、右心不全の違い、検査、重症度分類、）	平澤　勉
5回目	心不全の理学療法プログラムの検討	平澤　勉
6回目	虚血性心疾患（狭心症と心筋梗塞）について	平澤　勉
7回目	小テスト、まとめ	平澤　勉
8回目	心臓弁膜症・心内膜炎（大動脈・僧帽・三尖・肺動脈弁の狭窄・閉鎖不全症に	平澤　勉
9回目	大動脈留・解離、末梢動脈疾患、ASO、Buerger病について	平澤　勉
10回目	静脈・リンパ管疾患（下肢静脈瘤、深部静脈血栓症）について	平澤　勉
11回目	先天性心疾患（心室中隔欠損、Fallot四徴候、三尖弁閉鎖症など）について	平澤　勉
12回目	運動処方、再発予防とチーム医療、一時救命処置、心電図	平澤　勉
13回目	小テスト、まとめ	平澤　勉
14回目	老年期（サルコペニア、栄養障害）の理学療法プログラムの検討	平澤　勉
15回目	老年期（フレイル、ロコモティブシンドローム）の理学療法プログラムの検討	平澤　勉

教科書及び参考書	①病気がみえる Vol.2循環器　②最新理学療法講座 内部理学療法学 講義配布資料
成績評価	定期試験（80%）、小テスト2回（20%）、出席について（欠席1回3点減、遅刻1回1点減）

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

心疾患は日本の死因の第2位と死因の約15%を占めています。しかし、そのほとんどの原因は生活習慣の改善から防ぐことができます。理学療法士は病院内で他の医療スタッフよりも患者と関わる時間が長く、生活習慣についても語り合う機会が多いです。「タバコくらい大丈夫ですよ。」「退院したら好きなもの食べましょう。」など不用意な発言はせずに、適切なアドバイスをできるようにしましょう。

（実務経験のある教員による授業科目の場合）どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

急性期から生活期まで働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	日常生活動作学・生活環境論	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	木曜・2限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	ADLは人間が自立して生活するために日々繰り返される動作である。しかし、治療や支援が必要な人にとっては福祉道具や動作を実施する環境などによっても影響を受ける。そのため、本講義はADLの基礎的な知識から評価、疾患別の動作の理解をADL指導に繋げ生活環境まで幅広い知識を学んでいきます。				
学習目標	①ADL評価を理解する ②自助具・補装具、車椅子等生活支援に関わる道具を理解する ③基本動作に必要な運動を理解する ④各疾患のADLの特徴及び介助方法を理解する ⑤国家試験の出題範囲及び内容を理解する				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション、総論、ADLの概念・位置づけ、ADL支援の今後の課題など	水野 靖廣
2回目	ADL評価(機能評価の目的、障害分類法、国際障害分類、国際生活機能分類など)	水野 靖廣
3回目	ADL評価(国際生活機能分類、国際生活機能分類のコード分類・数字の対応など)	水野 靖廣
4回目	ADL評価(機能評価の評価一覧、能力低下の評価一覧、Barthel indexなど)	水野 靖廣
5回目	FIM(採点対象、運動項目の採点基準、認知項目の採点基準、ルール、調べ学習など)	水野 靖廣
6回目	FIM　発表(セルフケア、排泄コントロール、移乗・移動、コミュニケーションなど)	水野 靖廣
7回目	FIM　発表(社会的認知、国家試験確認問題など)	水野 靖廣
8回目	ADLを支援する機器(T字杖、オフセット杖などの補講補助具、Pauwelsのてこの理論など)	水野 靖廣
9回目	確認テスト　まとめ及び共有①	水野 靖廣
10回目	人工股関節術後の日常生活活動(脱臼肢位、ソケットネックインピンジメント、起居動作など)	水野 靖廣
11回目	慢性関節リウマチの日常生活活動(関節保護とエネルギーの節約、自助具など)	水野 靖廣
12回目	脳卒中片麻痺の日常生活活動(起居動作、移乗動作、更衣動作、歩行など)	水野 靖廣
13回目	parkinson病の日常生活活動(Yahrの重症度分類、on-off現象、ウェアリングオフ現象など)	水野 靖廣
14回目	生活環境論について(平面図の見方、玄関スロープの勾配、階段・上がり框の高さなど)	水野 靖廣
15回目	確認テスト　まとめ及び共有②	水野 靖廣

教科書及び参考書	・標準PT　専門分野　日常生活活動学・生活環境学　第4版(鶴見 隆正編集、医学書院出版) ・脳卒中の機能評価　SIASとFIM[基礎編](千野 直一編集、金原出版株式会社出版)
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

座学のみでなく実技を交えて展開していきます。そのため皆さんの協力が必要となります。
ADLは解剖学、生理学に並び理学療法において「要」となる学問です。当然、国家試験においても出題率が非常に高いです。また、臨床実習で問われる疾患別の起居動作、歩行、応用動作なども学んでいきます。実習や国家試験などADLの重要性を理解し積極的に取組み1回1回の授業を大切にしてください。
なお、授業内容及び進度は皆さんの理解度や感染症の状況などで随時変更する場合があります。その際は事前に連絡します。

(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、ADLの評価をはじめ様々な疾患に対応した指導を理解しアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習　内部Ⅲ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	木曜・4限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	栄養素は生命活動や作業に必須のエネルギー源であり、栄養管理なくして身体組織も活動や作業も成立しません。一方、この栄養摂取とエネルギー代謝障害の代表的な疾患である糖尿病は、世界で最も罹患人口が多いと言われています。本講義では糖尿病を中心に脂質や尿酸などの代謝障害を学びその病態や発症メカニズムと症状、検査および診断、治療に対する考え方を学びます。				
学習目標	①栄養素の同化と異化、エネルギー供給系を理解する。 ②代謝、内分泌系疾患、腫瘍の定義，種類，特徴などを理解する。 ③代謝、内分泌系疾患、腫瘍に対する運動療法の意義や基本的考え方を理解する。 ④代謝、内分泌系疾患、腫瘍に対するリスク管理について理解する。 ⑤代謝、内分泌系疾患、腫瘍の国家試験を理解する。				

回数		担当教員
1回目	総論(同化と異化、三大栄養素の消化酵素、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系等)	水野 靖廣
2回目	エネルギー代謝(呼吸商、代謝当量、基礎代謝、特異動的作用、エネルギー代謝率等)	水野 靖廣
3回目	体温調節(正常体温、体温調節、部位別の熱産生、調節機序、体温上昇による生体反応等)	水野 靖廣
4回目	糖代謝総論(糖の役割・利用、インスリンの作用、血糖調節とホルモン、GULT4等)	水野 靖廣
5回目	糖代謝異常(病態、1型・2型糖尿病の発症機序、症状・臨床所見、検査・診断・治療等)	水野 靖廣
6回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての調べ学習	水野 靖廣
7回目	急性・慢性糖尿病の合併症(誘因、病態、症状、検査、治療)についての発表、確認問題	水野 靖廣
8回目	肥満症(肥満の種類、判定方法、コレステロールの分類、メタボリックシンドローム等)、骨代謝等	水野 靖廣
9回目	確認テスト　まとめ及び共有①	水野 靖廣
10回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての調べ学習	水野 靖廣
11回目	内分泌(脳、甲状腺、副甲状腺、膵臓、腎臓、胸腺等)、異常分泌疾患についての発表、確認問題	水野 靖廣
12回目	腫瘍について(定義、分類、形態、進展形式、原因とメカニズムなど)	水野 靖廣
13回目	腫瘍について(理学療法士・作業療法士との関連事項など)、確認問題	水野 靖廣
14回目	確認テスト　まとめ及び共有②	水野 靖廣
15回目	定期試験対策	水野 靖廣

教科書及び参考書	病気がみえる vol.3　糖尿病・代謝・内分泌(発行者 岡西 豊、出版所 メディックメディア)
成績評価	定期テスト80%、小テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

代謝疾患は脳血管障害などの合併症として、臨床で頻繁に対応を求められる学問であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解することが必要です。そのためには基礎科目である生理学をしっかりと復習しておく必要があります。本講義において分からない点がある場合は積極的に質問して頂くのと同時に生理学を振り返りましょう。

なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。

授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。

(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

理学療法士として整形外科クリニックで高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、エネルギー供給機構から糖尿病をはじめとした様々な代謝疾患及び内分泌疾患の成因からアプローチ方法、リスク管理を指導する科目である。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習　中枢Ⅳ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	金曜1・2限
担当教員	鈴木　研				
授業概要	臨床実習を見据え，より実践的な演習内容にしていくため，毎週の実技テストであったり，課題に取り組んでもらいます． その日ごとで評価を済ませますので，期末テストはありません（演習時間内の取り組み姿勢も評価し，加点，減点をしますので，ご了解ください）．				
学習目標	①脳血管障害患者さんをイメージした基本的な身体介助の方法，ハンドリングを学ぶ機会とします． ②いくつかの検査，評価についても時間を設けます． ③臨床実習の際に少しでも役立つようなアドバイスも行います． ④グループワークで行いますので，メンバーでのやり取り間でのやり取りを期待します． ⑤実習場面を想定し，積極的な取り組みを期待します．				

回数		担当教員
1回目	脳血管障害，全介助を知る①（デモンストレーションと反復演習）	鈴木　研
2回目	脳血管障害，全介助を知る②（実技テスト）	鈴木　研
3回目	脳血管障害，一部介助を知る①（デモンストレーションと反復演習）	鈴木　研
4回目	脳血管障害，一部介助を知る②（実技テスト）	鈴木　研
5回目	脳血管障害，移乗動作介助を知る①（デモンストレーションと反復演習）	鈴木　研
6回目	脳血管障害，移乗動作介助を知る②（実技テスト）	鈴木　研
7回目	脳血管障害，疾患の捉え方①（デモンストレーションと反復演習）	鈴木　研
8回目	脳血管障害，疾患の捉え方②（実技テスト）	鈴木　研
9回目	脳血管障害，疾患の捉え方③（デモンストレーションと反復演習）	鈴木　研
10回目	脳血管障害，疾患の捉え方④（実技テスト）	鈴木　研
11回目	脳血管障害へのアプローチ①（デモンストレーションと反復演習）	鈴木　研
12回目	脳血管障害へのアプローチ②（実技テスト）	鈴木　研
13回目	脳血管障害，モデル症例から学ぶ（課題への取り組み）	鈴木　研
14回目	脳血管障害，モデル症例から学ぶ（成果物の作成～発表）	鈴木　研
15回目	パーキンソン病のモデル症例から学ぶ（課題への取り組み～成果物の作成～発表）	鈴木　研

教科書及び参考書	特になし（スマートフォン等での検索をお願いすることがあります）．
成績評価	各テスト，課題提出，取り組み姿勢を評価（100%），出席（欠席1回で3点減，遅刻1回で1点減）

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

昨年度の内容を見直しました．
より実技，課題を深めるため，当院で受け入れた各養成からの実習生さんたちの意見も参考にしています．
実技の精度や課題における成果物作成には個人差が生じることが予想されますので，グループ内での確認，ディスカッションに時間をかけることが望ましいです．

（実務経験のある教員による授業科目の場合）どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。

これまでの臨床経験だけでなく，スタッフや実習生への指導経験も活かした内容にしていきます．
臨床実習の機会を有意義に経験できなかった学生さんの事例などもお伝えしたいです．